

100分 de 名著スペシャル 「100分 de 手塚治虫」

11月12日(土) Eテレ 午後11:00~深夜0:40

漫画家・手塚治虫(1928-1989)が最初の作品を世に送り出して今年で70年。手塚治虫をこよなく愛する論客が一堂に会し、手塚作品を徹底的に読み解く。

女装パフォーマーとして活躍するブルボンヌさんは、セクシャルマイノリティ当事者の立場から、「リボンの騎士」を「LGBT問題」や「性の本質」にいち早く迫った作品として読み解く。



「愛のむきだし」「冷たい熱帯魚」等の映画で若者から熱狂的な支持を受ける映画監督、園子温さんは、表現者の立場から、誰にもまねのできない「鉄腕アトム」の描線の魅力に肉薄していく。

精神科医の斎藤環さんは、「奇子(あやこ)」「きりひと讃歌」といった大人向けの手塚作品を通して、誰もが魅了される圧倒的なストーリーテリングがなぜ生まれたのかを心理学的に分析する。

相愛大学教授の釈徹宗さんは、手塚の一大巨編「火の鳥」を人間の宗教性の根源を描いた作品として、宗教学の立場から徹底解剖する。

手塚治虫を現代によみがえらせる、Eテレならではの知的エンターテインメント番組。

司会：伊集院光 磯野佑子アナウンサー(「100分 de 名著」MC)

手塚治虫 自身が語ったルーツと音楽

11月3日(木・祝) FM 午後9:00~10:45、11:00~深夜0:00

今も多くの人に愛される手塚治虫さんの生前の肉声をNHKのアーカイブスから紹介。「マンガ」「音楽」「SF」の3つのテーマに沿って、その人物像と魅力に迫る。また、バイオリニスト・千住真理子さんが「火の鳥 2772 愛のコスモゾーン」の主題曲を36年ぶりに演奏する。

MC 濱田高志(アンソロジスト)、菊池亜希子(モデル・女優)

ゲスト コムアイ(「水曜日のカンパネラ」ボーカル)、手塚るみ子(プランニング・プロデューサー)、難波弘之(作曲家・SF作家)、二階堂黎人(小説家)、樋口康雄(作曲家)、細野晴臣(ミュージシャン)

ライブゲスト 千住真理子(バイオリニスト)、山洞 智(ピアニスト)